特定都市河川浸水被害対策推進事業【本川水系本川流域】（広島県竹原市）

速報

■ 当該流域では平成30年7月洪水（確率規模：1/20）において床上172戸、床下94戸、令和3年7月洪水（確率規模：1/20）において床上90戸、床下166戸と甚大な被害が発生した。

■ 本事業は、広島県の実施する本川の河川改修と併せて、本川に接続する雨水函渠の途中に雨水貯留施設を整備することで、平成30年7月規模の洪水に対し、床上浸水被害解消を図るものである。

■ 今回の出水（令和8年6月25日）では、時間雨量としては平成30年7月や令和3年7月に匹敵する豪雨により本川の水位が越水寸前まで上昇した。雨水函渠から本川へ排水する水を、一時的に1号調整池に溜める事で、雨水函渠から水が周辺へ溢れることなく、浸水被害の発生を防ぐことができた。

■ さらに、現在整備中の2号調整池を運用することで、さらなる治水安全度の向上が期待できる。

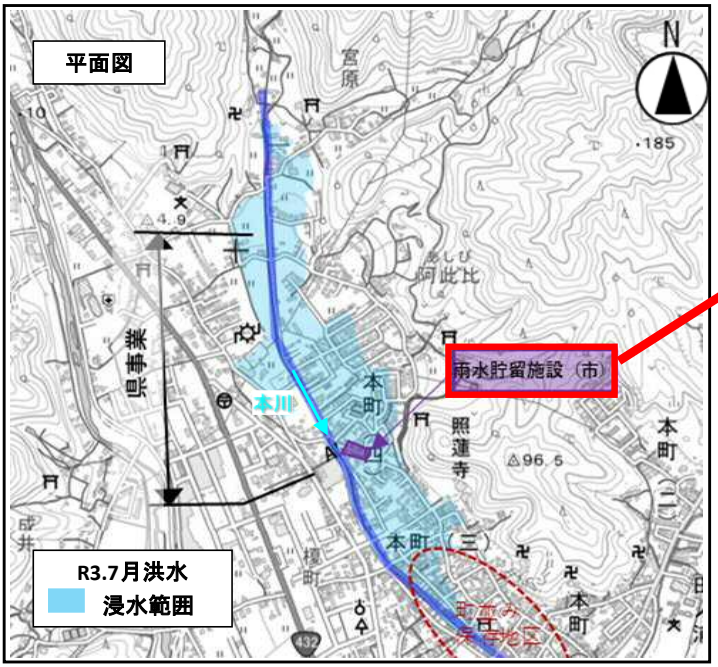
位置図



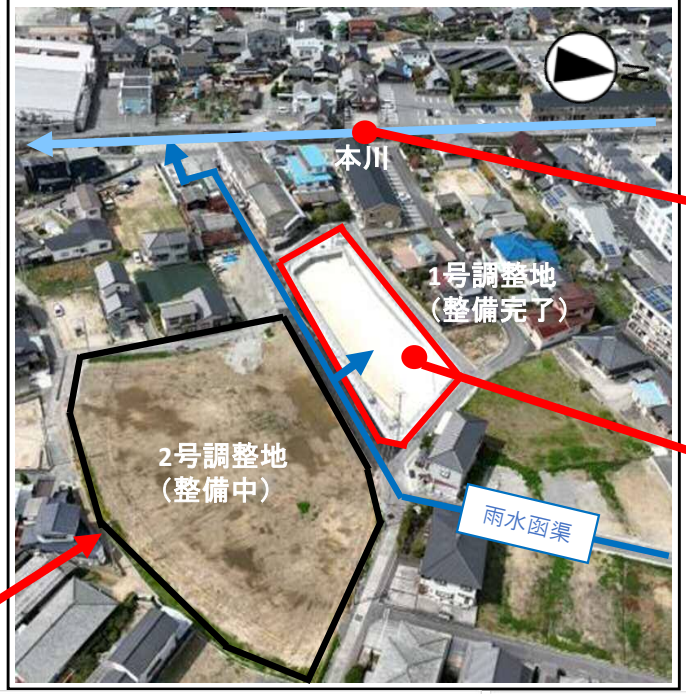
本川からの溢水状況
（令和3年度）



平面図



整備状況



今回の出水（本川の水位上昇の状況）



今回の出水（新設した1号調整池）



新設した雨水貯留施設により、過去と同等の洪水による浸水被害を未然に防ぐことができた。

「流域治水」の効果を発揮！



24時間雨量は平成30年度、令和3年度豪雨に近い



平成30年度、令和3年度豪雨に匹敵する雨量



整備により浸水被害なし